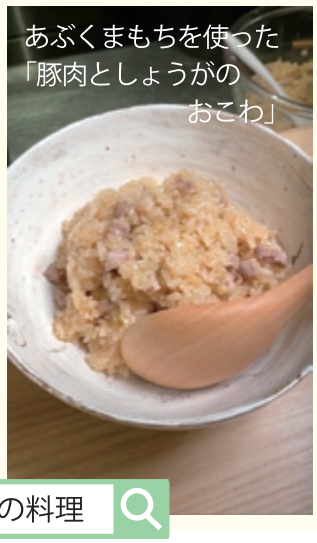
広報いいたて
令和4年4月号 No.698（毎月5日発行）
●発行 飯舘村 ●編集 村づくり推進課広報委員会 飯舘村役場 〒960-1892 福島県相馬郡飯舘村伊丹沢字伊丹沢580番地1 電話：0244-42-1611（代表） FAX：0244-42-1601

飯舘村産もち米「あぶくまもち」の中華風おこわ
料理家・栗原はるみさんのレシピで召し上がれ

実証栽培した村産の「あぶくまもち」を使って、料理家・栗原はるみさんがおこわのレシピを考案。3月11日に「日本橋ふくしま館ミデッテ」のキッチンから、調理の模様をインスタグラムでライブ配信しました。「あぶくまもち」は県が開発したオリジナル品種のもち米です。村は、震災で中断していた生産と6次化に向け、昨年から再び挑戦を始めています。


あぶくまもちを使った「豚肉としょうがのおこわ」

栗原はるみさん

詳しいレシピはウェブサイトで確認を ▼▼

当日の動画はインスタグラムで公開中 ▼▼

みんなのきょうの料理

この配信は、NHKエデュケーショナル「みんなのきょうの料理」の企画。当日は福島の食材を楽しむ2つのレシピが紹介されました。栗原さんは、震災以降さまざまな場面で、福島の食材の魅力や生産者の頑張りを発信していて、この配信でも「福島の食材を知ってもらうきっかけになりたい。お料理を通してこれからもずっと応援したい。私のライフワークです」と熱いエールをいただきました。「あぶくまもち」は、電子レンジで手軽にできる味わい深い中華風おこわに変身しました。

昨年の実証栽培の稲刈り

生産者３人で構成する「飯舘村あぶくまもち生産組合」（青田豊実代表／前田）が昨年12月に設立されました。翌１月には県と「あぶくまもち」の種苗許諾契約を締結し、種もみ生産の権利も取得しました。本年は、村内の圃場60aで種もみを生産。来年（令和５年）の本格栽培と作付面積拡大に向け、村としても振興を図っていきます。

あぶくまもち

〈編集後記〉

●出会いと別れの季節。ふくしま駅伝で関わってきた生徒達の卒業で、時の流れをしみじみと感じました。コロナ禍で制限ある学校生活を過ごしたもどかしい気持ちは、本人達にしか分からないことだと思います。この先長い未来で、何倍も楽しい思い出ができることを、勝手ながら願っています。（菅野）

●「水仙は咲きましたか」「桜の満開はいつ頃になりそうですか」と役場に問い合わせが来るこの季節。村外の皆さんも花景色を楽しみにしているんだなとうれしくなります。日ごと軽やかに鮮やかに色合いを変えていく飯舘の春です。（星）

Native Speakers
ネイティブ・スピーカーズ
飯舘言葉の達人たち
第12回

かいちゃでないの？
かぐしこうっしょに
なってるよ

その意味は…

スマホのカメラをかざして YouTube で見てね

または検索で！

飯舘村 YouTube